

令和6年度 学校評価 報告書



旭市立琴田小学校

令和7年2月28日

令和6年度学校評価について

1 目的

- ①本校の教育活動等の成果を検証し、必要な修正や改善を行い、児童がより良い教育活動を享受できるように学校運営の改善と発展を目指し、教育の水準の向上と保証を図る。
- ②学校運営に関して、学校が適切な説明責任を果たすとともに、学校の状況に関する共通理解をもつことにより、家庭及び地域との連携・協力の促進を図る。
- ③学校運営全般について評価を行い、その評価結果を広く保護者等に公開する。

2 方法

- 自己評価の基になる資料収集のため、児童・保護者・教職員向けアンケートを実施しました。ご協力ありがとうございました。
- アンケート等の結果を集計、分析、考察し、評価を実施しました。
- 考察・評価から、今後の学校運営に関しての対応をまとめました。
- この結果は、保護者・学校評議員・学校ホームページに公開されます。

3 アンケート結果の処理について

肯定的 (%) は、質問に対し（とても思う : 4 思う : 3）の人数の割合です。
否定的 (%) は、質問に対し（あまり思わない : 2 思わない : 1）の人数の割合です。
評価 (点) は、質問に対する回答 (点) を次の式で処理したものです。

式：各質問の回答 (点) の平均値 / 4 × 100

【例】

1 児童は授業に取り組む姿勢・ルールが身につけてきている。

(とても思う : 4 思う : 3 あまり思わない : 2 思わない : 1) で回答

とても思う	: 4	・・・	18名	4 × 18 = 72
思う	: 3	・・・	2名	3 × 2 = 6
あまり思わない	: 2	・・・	2名	2 × 2 = 4
思わない	: 1	・・・	2名	1 × 2 = 2

回答(点)の平均値は、 $(72+6+4+2) \div 24人 = 3.5$ $3.5 \div 4 \times 100 = \underline{87.5} \rightarrow$ 評価 (点)

<自己評価の資料として>

十分達成○ (75以上 ※90以上には◎) 要努力評価△ (75未満)
不十分達成× (60未満) としてあります。

目次

自己評価と対応	1 ページ ~ 5 ページ
1 保護者アンケート結果	6 ページ
2 児童アンケート結果 (低学年)	7 ページ
3 児童アンケート結果 (高学年)	8 ページ
4 職員アンケート結果	9 ページ

自己評価と対応

※自己評価は、A:十分に達成 B:ほぼ達成 C:やや不達成 D:不達成 とし、保護者アンケート、児童アンケート(低・高学年)、職員アンケート等を評価の参考としています。
 ※各アンケートは、【回答(点)の平均/4*100点】として集計し、十分達成(75点以上):○ ※今年度から90点以上の項目には◎ 要努力評価(75点未満~60点):△ 不十分達成(60点未満):× で標記しました。

◎ 本年度の最重点目標について

1	授業に取り組む姿勢・ルールを職員・児童が共通理解し、徹底することで学習習慣を確立する。	評価	A
2	家庭学習の充実を図る。家庭学習への取り組み方指導、ICT機器の効果的活用と情報モラル・マナー指導を充実させる。	評価	A
3	図書館司書と連携し、読書活動を推進する。読書の苦手な児童に対して、効果的な指導・支援を実施する。	評価	B
4	豊かな人間関係を構築するため、あいさつ運動・「小さな親切」運動、ボランティア活動、勤労体験等を通して、思いやりや互いの個性を認め合う心を養う。	評価	B
5	進んで運動に取り組む、運動の楽しさを知るため、運動の日常化と体力向上を図る。	評価	A
6	学校・家庭・地域と連携し「開かれた学校」を推進する。児童一人一人の状況について家庭との連携を密にする。	評価	A
7	公正で効率的な職務の遂行とコンプライアンスを徹底し、「働き方改革」の推進、職員の「不祥事ゼロ」を実現する。	評価	A

○進んで学習する子どもについて

1	児童は授業に取り組む姿勢・ルールが身についてきている。	評価	A																
	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>アンケート対象</td> <td>評価</td> <td>アンケート対象</td> <td>評価</td> <td>アンケート対象</td> <td>評価</td> <td>アンケート対象</td> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>○</td> <td>低学年児童</td> <td>○</td> <td>高学年児童</td> <td>○</td> <td>教職員</td> <td>○</td> </tr> </table>	アンケート対象	評価	アンケート対象	評価	アンケート対象	評価	アンケート対象	評価	保護者	○	低学年児童	○	高学年児童	○	教職員	○		
アンケート対象	評価	アンケート対象	評価	アンケート対象	評価	アンケート対象	評価												
保護者	○	低学年児童	○	高学年児童	○	教職員	○												

高学年児童は、昨年度より肯定的評価の値が90%、評価点75.4と数値は若干向上しました。他の対象グループの数値は、肯定的評価が95%超、評価点80超と十分満足のいく結果でした。様々な支援を必要とする児童が多い中、集中力を高め、持続しながら学習に取り組ませるための基本として大切なことは、授業規律の徹底であると考えています。道具の準備、時間着席、グー・ペタ・ピン・サッ、授業中の勝手な出歩き等について、教職員で今一度共通理解を図り、来年度以降も徹底して指導にあたるよう努めていきます。

2	宿題や家庭学習の習慣が身に付いてきている。(児童:忘れずにやっている)	評価	A								
	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>保護者</td> <td>○</td> <td>低学年児童</td> <td>◎</td> <td>高学年児童</td> <td>○</td> <td>教職員</td> <td>○</td> </tr> </table>	保護者	○	低学年児童	◎	高学年児童	○	教職員	○		
保護者	○	低学年児童	◎	高学年児童	○	教職員	○				

低学年児童では肯定率100%、評価点92.1とかなり高い数値ですが、高学年になると肯定率65%、評価点71.5と大きく下がっています。高学年児童は、肯定率・評価点共に昨年の数値より若干向上しましたが、まだまだ向上の余地があると考えます。また、教職員と保護者の肯定率・評価点共に昨年度より向上しています。保護者の数値が更に高まるよう、これからも指導して参ります。

家庭学習は、『学年×10分』を目安として、指導を行っています。家庭での過ごし方及びゲーム・ネットの使い方など、家庭と連携を図り、家庭学習の習慣化に取り組んでいきたいと思っています。

3	学校は、学習の基礎・基本となる計算や漢字などが身に付くように指導している。	評価	A
---	---------------------------------------	----	---

保護者	○	低学年児童	○	高学年児童	○	教職員	◎
-----	---	-------	---	-------	---	-----	---

本校の課題の一つは『学力の向上』です。その基礎・基本となる内容は、読み・書き・計算です。今年の朝学習は、月・水曜日に読書、火曜日に漢字や文章読み解き、金曜日に計算という形で年間を通じて取り組んでいます。また、各教科の授業においても少人数の利点を生かしたきめ細かな指導を行っているところです。学習の定着度については、2月中に実施予定の千葉県標準学力検査の結果を基に評価を行い、次年度に向けての指導方法の工夫改善につなげていきたいと考えます。また、令和7年度には、基礎学力向上のための小テストを計画的に実施していく予定です。

4	学校は、児童が進んで読書するように指導・配慮している。	評価	B
---	-----------------------------	----	---

保護者	○	低学年児童	△	高学年児童	△	教職員	○
-----	---	-------	---	-------	---	-----	---

学校評価の児童の肯定率は低学年で56%、高学年で45%、評価値は68.9と61.2でした。昨年度と比較するとわずかでは、ありますが数値の上昇が見られました。

学校では、昨年度に引き続き読書賞の授与と読書ボランティアによる読み聞かせ活動、図書館司書による図書室の管理・充実と本の紹介等を行っています。それに加えて今年度は、毎週月と水曜日の朝学習を読書に設定すると共に受賞者の写真掲示による賞賛を行っています。しかし、低学年では意欲的に取り組む児童が増加傾向にありますが、学校全体としての意識はまだ十分に高まっていません。読解力の向上を目指すためにも、読書に対する意欲が高まるよう指導を工夫していきたいと考えます。

5	学校は、授業や家庭での学習にICT機器(タブレット)を活用している。	評価	A
---	------------------------------------	----	---

保護者	○	低学年児童	○	高学年児童	○	教職員	○
-----	---	-------	---	-------	---	-----	---

評価の肯定率は、保護者・児童(低・高)・教職員全てにおいて、昨年度を上回る数値となりました。特に教職員の肯定率が100%となったことは、より積極的に自信をもって指導に当たっている現れであると捉えています。これからも児童のより深い学びにつながるようなICT機器の効果的な活用方法についての研修を重ねていきたいと考えます。また、週末や長期休業中のICT機器の持ち帰りを推進し、家庭学習の充実を図っていきます。

○思いやりのある子どもについて

6	児童は挨拶や返事がきちんとできる。	評価	A
---	-------------------	----	---

保護者	○	低学年児童	○	高学年児童	○	教職員	○
-----	---	-------	---	-------	---	-----	---

昨年度より、児童には『挨拶にっこり』を呼びかけてきました。学校評価の肯定率は、低学年95%、高学年93%、保護者89%と高評価です。しかし、教職員は肯定率80%、評価点75.0という評価でした。教師の期待するレベルの挨拶(大きな声・はっきり・自分から先に)に達するようこれからも継続指導に取り組んでいきたいと思えます。

7	児童は、「道徳」やその他の活動をとおして思いやりの心が育っている。	評価	A
---	-----------------------------------	----	---

保護者	○	低学年児童	△	高学年児童	△	教職員	○
-----	---	-------	---	-------	---	-----	---

友だちに親切にしてあげたことがありますか。

保護者	△	低学年児童	○	高学年児童	○	教職員	△
-----	---	-------	---	-------	---	-----	---

友だちのよいところや自分のよいところを見つけられましたか。

保護者	△	低学年児童	○	高学年児童	○	教職員	△
-----	---	-------	---	-------	---	-----	---

児童の肯定率は低学年で82%、高学年で88%と高い評価となっています。これからも道徳の授業及び日常生活における指導に継続して取り組みます。

8	学校は、いじめの防止や早期発見に十分努めている。	評価	A
---	--------------------------	----	---

保護者	○	低学年児童	△	高学年児童	△	教職員	◎
-----	---	-------	---	-------	---	-----	---

肯定率は、保護者94%、教職員100%でした。『いじめは、絶対にあってはいけない。許さない。』という意識を高くもち、これからも学級担任による連絡ノートの点検や学校生活の観察、定期的な「日常生活アンケート」を通して早期発見・防止に努めます。また、「道徳科」の授業や「諸活動」においても、思いやりの心や命を大切にする心を培っていきます。

○健康で明るい子どもについて

9	学校は、体育の授業や体育的行事(運動会・マラソン大会等)、休み時間の遊びをとおして運動に親しみ、体力向上を推進している。	評価	A
	保護者 ○ 低学年児童 ○ 高学年児童 ○ 教職員 ○		

運動や外あそびは楽しいと思いますか。

保護者	低学年児童	高学年児童	教職員
-----	-------	-------	-----

今年度は、15分の休み時間の確実な確保や体育環境の充実に取り組みました。今後も児童の体力向上を目指し、積極的に運動に取り組めるよう、努めて参ります。

10	学校は家庭に対して、児童の保健衛生に関する情報提供に努め、協力して児童の健康増進に取り組んでいる。	評価	A
	保護者 ○ 低学年児童 低学年児童 高学年児童 教職員 ○		

給食をがんばって食べましたか。

保護者	低学年児童	高学年児童	教職員
-----	-------	-------	-----

児童が安全・安心して学校生活を送るために、これからも家庭のご協力をいただきながら健康・保健指導および食育指導に取り組んで参ります。

○喜んで働く子どもについて

11	児童の「勤労観」や「職業観」などが十分育成されている。	評価	B
	保護者 △ 低学年児童 高学年児童 教職員 ○		

保護者の肯定率が77%、評価点73.6とやや低い数値であったため、評価Bとしました。学校では、体験的な活動を積極的に実施する事で、児童の夢を育み、勤労観や職業観の向上につながっていく事を願っていますが、保護者には伝わりにくい面があると感じます。児童の成長が保護者からも理解を得られるよう、指導の工夫や情報発信に取り組んで参ります。

12	学校は、児童一人一人のキャリア形成と自己実現の指導に努めている。	評価	B
	保護者 △ 低学年児童 高学年児童 教職員 ○		

そうじや給食のじゅんぴをがんばっていますか。

保護者	低学年児童	高学年児童	教職員
-----	-------	-------	-----

係や委員会活動にすすんで活動していますか。

保護者	低学年児童	高学年児童	教職員
-----	-------	-------	-----

日々の清掃や委員会活動は、学年縦割りで上級生が下級生と共に一生懸命取り組んでいます。また、各行事の準備なども高学年児童を中心に、大変意欲的に取り組む姿が見られました。キャリア教育に関しては、保護者の評価点が低いため、あえて評価Bとしました。校内の取組がしっかりと保護者に伝わり、指導の成果について理解を得られるよう努力して参ります。

○安全、生活、家庭との連携

13	学校は、通学路の安全や交通安全対策に努めている。	評価	A
	保護者 ○ 低学年児童 高学年児童 教職員 ○		

交通ルールを守って登下校していますか。

保護者	低学年児童	高学年児童	教職員
-----	-------	-------	-----

交通ルールの指導は、年度当初に警察と連携しての指導の他、随時、担任を中心に実施しており、児童の評価は高いです。また、PTA役員、地域ボランティアの方のご協力をいただきながら、登校時の安全確認を定期的に行っています。引き続き、保護者や地域との連携・協力を推進しながら子ども達の安全確保に取り組んでいきます。

14	学校は、学校施設の安全や子どもの活動の安全対策に努めている。	評価	A
----	--------------------------------	----	---

保護者	○	低学年児童	△	高学年児童	△	教職員	◎
-----	---	-------	---	-------	---	-----	---

高い評価をいただいております。安全で安心な学校運営に向けて、教職員も意識を高くもって取り組んでいます。安全点検等の確実な実施を、今後も継続していきます。

15	児童は、学校に行くことを楽しいと感じている。(学校生活は楽しい。)	評価	A
----	-----------------------------------	----	---

保護者	○	低学年児童	○	高学年児童	○	教職員	○
-----	---	-------	---	-------	---	-----	---

学校評価の肯定率は、保護者が95%、低学年児童が91%、高学年児童が93%と昨年度の数値を上回る高評価を得ています。しかし、否定的な回答をしている児童が少数ですが、軽視できません。「毎月の児童への生活アンケート」、「定期的ないじめ・セクハラ調査」、「日々の相談活動」を充実させることで、学校が楽しいと感じる児童の割合が、100%に近づくように努めます。

16	児童は、基本的な生活習慣(早寝・早起き・朝ご飯)が身についている。	評価	A
----	-----------------------------------	----	---

保護者	○	低学年児童	△	高学年児童	△	教職員	○
-----	---	-------	---	-------	---	-----	---

学校のきまりややくそくを守って生活していますか。

保護者	△	低学年児童	○	高学年児童	○	教職員	△
-----	---	-------	---	-------	---	-----	---

児童の健康維持・促進及びや望ましい学校生活を送るために、基本的な生活習慣の確立は不可欠です。保護者は、肯定率81%、評価点79.3、教職員は肯定率86%、評価点76.8とやや厳しい結果でした。児童に対する期待の表れと取れますが、今後も保護者との協力・連携を図りながら、児童の基本的な生活習慣の向上と規範意識をさらに高めていけるよう指導していきます。

17	学校は、児童や保護者からの相談に対して適切に対応している。	評価	A
----	-------------------------------	----	---

保護者	○	低学年児童	△	高学年児童	△	教職員	◎
-----	---	-------	---	-------	---	-----	---

学校のことをお家の人にはなしていますか。

保護者	△	低学年児童	○	高学年児童	○	教職員	△
-----	---	-------	---	-------	---	-----	---

学校でこまったことは先生に話すようにしていますか。

保護者	△	低学年児童	○	高学年児童	△	教職員	△
-----	---	-------	---	-------	---	-----	---

「学校で困った事は先生に話すようにしている」において、低学年・高学年共に肯定率は昨年度より10ポイント以上向上しました。しかし、まだ十分とは言えない数値結果です。教職員は、日々子ども達や保護者の声に耳を傾け、相談には誠意をもって丁寧に対応する事を心がけております。今後も誰もが安心して相談できるよう、相談活動の充実を目指して参ります。

18	学校は、連絡帳・電話・学校配信メール等で家庭との連絡・連携を図っている。	評価	A
----	--------------------------------------	----	---

保護者	○	低学年児童	△	高学年児童	△	教職員	◎
-----	---	-------	---	-------	---	-----	---

児童の健康・保健面及び生徒指導に関する事など、学校で発生した内容については、事の大小に関わらず、学級担任から保護者に積極的に連絡・報告をしております。これからも学校教育への理解をいただけるよう、小まめに連携を図って参ります。また、学校配信メールの積極的活用により、情報発信・連携と業務改善・削減の両立を目指して行っています。

19	学校は、「学校だより」「学級だより」「保健だより」等の配付や「ホームページ」等で学校の様子や教育活動をわかりやすく伝えている。	評価	A
----	---	----	---

保護者	<input checked="" type="radio"/>	低学年児童	<input type="checkbox"/>	高学年児童	<input type="checkbox"/>	教職員	<input checked="" type="radio"/>
-----	----------------------------------	-------	--------------------------	-------	--------------------------	-----	----------------------------------

連絡帳をきちんと書いて家の人に見せていますか。

保護者	<input type="checkbox"/>	低学年児童	<input type="checkbox"/>	高学年児童	<input type="checkbox"/>	教職員	<input type="checkbox"/>
-----	--------------------------	-------	--------------------------	-------	--------------------------	-----	--------------------------

連絡帳の活用については、低・高学年児童のどちらも、肯定率・評価点共に昨年度を上回る数値となりました。学校と家庭との連携を更に深めるために、これからも積極的な活用していきたいと思えます。

学校だより等については、保護者からは肯定率100%、評価点91.5と大変高い評価をいただきました。昨年度から、学校だよりには保護者の皆様からの感想やご意見も掲載しておりますが、今後も引き続き、積極的な情報発信に努めて参ります。

○特別支援教育について

20	学校は、特別な支援が必要な児童に対し、個別の支援・指導に努めている。	評価	A
----	------------------------------------	----	---

保護者	<input type="checkbox"/>	低学年児童	<input type="checkbox"/>	高学年児童	<input type="checkbox"/>	教職員	<input checked="" type="radio"/>
-----	--------------------------	-------	--------------------------	-------	--------------------------	-----	----------------------------------

自分とちがう考えや行動をする友だちのことを大切にしていますか。

保護者	<input type="checkbox"/>	低学年児童	<input type="checkbox"/>	高学年児童	<input type="checkbox"/>	教職員	<input type="checkbox"/>
-----	--------------------------	-------	--------------------------	-------	--------------------------	-----	--------------------------

友だちのよいところや自分のよいところを見つけられましたか。

保護者	<input type="checkbox"/>	低学年児童	<input type="checkbox"/>	高学年児童	<input type="checkbox"/>	教職員	<input type="checkbox"/>
-----	--------------------------	-------	--------------------------	-------	--------------------------	-----	--------------------------

特別支援教育の充実は、本校の実態に照らし合わせて大きな課題の一つです。様々な配慮や支援を必要とする児童の的確な実態把握や適切な指導を行うための指導力向上研修を、外部から講師を招聘して実施しています。また、児童の実態については、職員間で情報共有を、週1回の職員打合せや月1回の職員会議で積極的に実施しています。

○不祥事防止について		評価	A
------------	--	----	---

学校は、「不祥事ゼロ」をめざして意識改革に努め、効果的な研修を行っている。

保護者	<input type="checkbox"/>	低学年児童	<input type="checkbox"/>	高学年児童	<input type="checkbox"/>	教職員	<input checked="" type="radio"/>
-----	--------------------------	-------	--------------------------	-------	--------------------------	-----	----------------------------------

教職員の肯定率、評価点共に100でした。本校では、年度当初に「不祥事ゼロ宣言」を掲げるとともに、年間研修計画を立て、毎月1回モラルアップ研修(不祥事根絶研修)を確実に実施しています。また、教職員が相互に積極的に声を掛け合い、仲良く風通しの良い職場作りに取り組んでいます。

○働き方改革について		評価	A
------------	--	----	---

(職員は)意識して時間外勤務を削減しようとしている。

保護者	<input type="checkbox"/>	低学年児童	<input type="checkbox"/>	高学年児童	<input type="checkbox"/>	教職員	<input type="checkbox"/>
-----	--------------------------	-------	--------------------------	-------	--------------------------	-----	--------------------------

教職員の肯定率は100%、評価点は86.7と高い数値でした。しかし実際には時間外在校時間が月45時間を超える職員は毎月3~4名存在します。働き方改革に対する意識は徐々に高まってはいますが、教材作成や授業準備、行事の諸準備等の関係で、なかなか思うように進んでいないのが現状です。毎週1回のノー残業デーを確実に実施したり、会議の時間の短縮化を図ったりするなど、更に実効性のある取組を進めていきたいと思えます。

1 保護者アンケート結果

※ アンケートに対して、(とても思う:4 思う:3 あまり思わない:2 思わない:1)で回答を頂きました。

4と3を肯定的回答、2と1を否定的回答としました。

※評価(点)は、各回答の平均/4*100点としました。

☆上段:今年度 下段:昨年度

区分	番号	アンケート項目	肯定的 (%)	否定的 (%)	評価 (点)
進んで学習する子ども	1	児童は、授業に取り組む姿勢・ルールが身についてきている。	96%	4%	81.4
			96%	4%	81.3
	2	児童は、宿題や家庭学習の習慣が身に付いてきている。	88%	12%	78.1
			81%	19%	76.4
	3	学校は、学習の基礎・基本となる計算や漢字などが身に付くように指導している。	98%	2%	84.4
			90%	10%	80.9
	4	学校は、児童が進んで読書するように指導・配慮している。	87%	13%	79.7
			78%	22%	74.2
	5	学校は、授業や家庭での学習にICT機器(タブレット端末)を活用している。	93%	7%	82.4
			88%	12%	80.6
思いやりのある子ども	6	児童は、挨拶や返事がきちんとできる。	89%	11%	80.3
			86%	14%	78.8
	7	児童は、「道徳」やその他の活動をとおして思いやりの心が育っている。	92%	8%	80.9
			91%	9%	80.2
	8	学校は、いじめの防止や早期発見に十分努めている。	93%	7%	81.1
			94%	6%	81.0
健康で明るい子ども	9	学校は、体育の授業や体育的行事(運動会・マラソン大会)、休み時間の遊びをとおして運動に親しみ、体力向上を推進している。	97%	3%	86.3
			98%	2%	86.6
	10	学校は、家庭に対して児童の保健衛生に関する情報提供に努め、協力して児童の健康増進に取り組んでいる。	96%	4%	85.8
			98%	2%	85.2
喜んで働く子ども	11	児童の「勤労観」や「職業観」などが十分育成されている。	77%	23%	73.6
			77%	23%	75.0
	12	学校は、児童一人一人のキャリア形成と自己実現の指導に努めている。	83%	17%	74.5
			82%	18%	76.8
安全、生活、家庭との連携	13	学校は、通学路の安全や交通安全対策に努めている。	94%	6%	84.0
			91%	9%	82.1
	14	学校は、学校施設の安全や子どもの活動の安全対策に努めている。	96%	4%	85.0
			97%	3%	83.0
	15	児童は、学校に行くことを楽しいと感じている。	95%	5%	85.4
			93%	7%	87.1
	16	児童は、基本的な生活習慣(早寝・早起き・朝ご飯)が身についている。	81%	19%	79.3
			87%	13%	81.9
	17	学校は、児童や保護者からの相談に対して適切に対応している。	94%	6%	83.6
			98%	2%	86.8
	18	学校は、連絡帳・電話・学校配信メール等で家庭との連絡・連携を図っている。	97%	3%	88.3
99%			1%	88.4	
19	学校は、「学校だより」「学級だより」「保健だより」等の配付や「ホームページ」等で学校の様子や教育活動をわかりやすく伝えている。	100%	0%	91.5	
		98%	2%	89.9	
教支特 育援別	20	学校は、特別な支援が必要な児童に対し、個別の支援・指導に努めている。	96%	4%	86.4
			98%	2%	88.9

2 児童アンケート結果(低学年)

※ アンケートに対して、(とても思う:4 思う:3 あまり思わない:2 思わない:1)で回答を頂きました。

4と3を肯定的回答、2と1を否定的回答としました。

※評価(点)は、各回答の平均/4*100点としました。

☆上段:今年度 下段:昨年度

区分	番号	アンケート項目	肯定的 (%)	否定的 (%)	評価 (点)
進んで学習する子ども	1	がっこうでべんきょうするときのきまりを、まもっていますか。	95%	5%	80.7
			93%	7%	82.5
	2	しゅくだいは、わすれずにやっていますか。	100%	0%	92.1
			100%	0%	94.5
	3	かんじ やけいさんなどを、がんばっていますか。	89%	11%	84.2
			97%	3%	89.0
	4	がっこうやいえで、すすんで ^{ほん} 本をよんでいますか。	56%	44%	68.9
			48%	52%	67.9
	5	タブレットをつかったべんきょうは、たのしいですか。	91%	9%	88.6
			90%	10%	87.7
思いやりのある子ども	6	あいさつやへんじが、きちんとできていますか。	95%	5%	86.8
			95%	5%	86.3
	7	ともだちに、しんせつにしてあげたことがありますか。	86%	14%	82.9
			92%	8%	84.3
8	ともだちのよいところやじぶんのよいところを、みつげられましたか。	82%	18%	77.6	
		78%	22%	80.0	
健康で明るい子ども	9	たいいくややすみじかんなどは、すすんでからだをうごかしましたか。	86%	14%	87.3
			90%	10%	87.9
	10	うんどうや ^{そと} 外あそびは、たのしいですか。	93%	7%	90.8
			95%	5%	92.9
	11	きゅうしよくをがんばって、たべましたか。	79%	21%	82.0
			83%	17%	82.2
子ども喜んで働く	12	そうじやきゅうしよくのじゅんびを、がんばっていますか。	96%	4%	90.4
			93%	7%	88.6
安全、生活、家庭との連携	13	がっこうにくるときやかえるときは、こうつうルールをまもっていますか。	96%	4%	91.7
			97%	3%	93.8
	14	がっこうせいかつは、たのしいですか	91%	9%	86.4
			88%	12%	84.2
	15	がっこうのきまりややくそくをまもって、せいかつしていますか。	91%	9%	86.4
			100%	0%	89.0
	16	がっこうのことを、おうちの ^{ひと} 人に、はなしていますか。	81%	19%	78.5
			70%	30%	75.4
17	がっこうでこまったことは、せんせいにはなすようにしていますか。	77%	23%	78.1	
		59%	41%	69.1	
18	れんらくちょうをきちんとかいて、 ^{いえ} ^{ひと} 家の人にみせていますか。	84%	16%	85.1	
		78%	22%	84.2	

3 児童アンケート結果(高学年)

※ アンケートに対して、(とても思う:4 思う:3 あまり思わない:2 思わない:1)で回答を頂きました。

4と3を肯定的回答、2と1を否定的回答としました。

※評価(点)は、各回答の平均/4*100点としました。

☆上段:今年度 下段:昨年度

区分	番号	アンケート項目	肯定的 (%)	否定的 (%)	評価 (点)
進んで学習する子ども	1	授業にとりくむ姿勢・ルールは、まもっていますか。	90%	10%	75.4
			80%	20%	72.7
	2	家ででの学習(宿題や家庭学習など)に、進んで取り組んでいますか。	72%	28%	76.3
			65%	35%	71.5
	3	漢字や計算などに、がんばって取り組んでいますか。	86%	14%	82.8
71%			29%	75.8	
4	学校や家で、すすんで本をよんでいますか。	45%	55%	61.2	
		42%	58%	57.7	
5	タブレットをつかった勉強は、楽しいですか。	83%	17%	79.7	
		75%	25%	78.1	
思いやりのある子ども	6	あいさつや返事が、きちんとできていますか。	93%	7%	81.9
			86%	14%	83.5
	7	友だちに、親切にしてあげたことがありますか。	93%	7%	87.1
			92%	8%	85.4
8	友だちのよいところや自分のよいところを、みつけられましたか。	88%	12%	84.5	
		82%	18%	80.4	
健康で明るい子ども	9	体育や休み時間などは、すすんで体を動かしましたか。	78%	22%	77.2
			83%	17%	79.6
	10	運動や外あそびは、楽しいと思いますか。	86%	14%	86.2
			89%	11%	87.3
11	給食をがんばって、たべましたか。	88%	12%	86.6	
		88%	12%	86.2	
喜んで働く子ども	12	そうじや給食のじゅんびを、がんばっていますか。	98%	2%	88.8
			89%	11%	87.1
	13	係や委員会活動に、すすんで活動していますか。	95%	5%	87.9
89%			11%	86.5	
合認(違)い(を)	14	自分とちがう考えや行動をする友だちのことを、大切にしていますか。	95%	5%	85.3
			95%	5%	86.2
安全、生活、家庭との連携	15	交通ルールを守って、登下校していますか。	98%	2%	93.1
			98%	2%	91.5
	16	学校生活は、楽しいですか。	93%	7%	84.9
			89%	11%	84.6
	17	学校のきまりややくそくを守って、生活していますか。	97%	3%	86.6
			98%	2%	86.7
18	学校のことをお家の人に、はなしていますか。	76%	24%	77.6	
		74%	26%	77.7	
19	学校でこまったことは、先生に話すようにしていますか。	76%	24%	74.6	
		66%	34%	70.0	
20	連絡帳をきちんと書いて、家の人に見せていますか。	76%	24%	79.3	
		74%	26%	77.7	

4 教職員アンケート結果

※ アンケートに対して、(とても思う:4 思う:3 あまり思わない:2 思わない:1)で回答を頂きました。

4と3を肯定的回答、2と1を否定的回答としました。

※評価(点)は、各回答の平均/4*100点としました。

☆上段:今年度 下段:昨年度

区分	番号	アンケート項目	肯定的 (%)	否定的 (%)	評価 (点)
進んで学習する子ども	1	児童は、授業に取り組む姿勢・ルールが身についてきている。	100%	0%	84.6
			100%	0%	78.8
	2	児童は、宿題や家庭学習の習慣が身に付いてきている。	100%	0%	89.6
			100%	0%	84.6
	3	学習の基礎・基本となる計算や漢字などが身に付くように指導している。	100%	0%	90.4
			100%	0%	86.5
	4	児童が進んで読書するように指導・配慮している。	100%	0%	85.4
			85%	15%	80.8
	5	授業や家庭での学習にICT機器(タブレット端末)を活用している。	100%	0%	83.3
			92%	8%	88.5
思いやりのある子ども	6	児童は、挨拶や返事がきちんとできる。	80%	20%	75.0
			73%	27%	70.0
	7	児童は、「道徳」やその他の活動をとおして思いやりの心が育っている。	93%	7%	78.6
			93%	7%	80.0
8	学校は、いじめの防止や早期発見に努めている。	100%	0%	98.3	
		100%	0%	96.7	
健康で明るい子ども	9	児童は、体育の授業や体育的行事(運動会・マラソン大会)、休み時間の遊びをとおして運動に親しみ、体力向上を推進している。	100%	0%	95.0
			100%	0%	90.0
10	学校は、家庭に対して、児童の保健衛生に関する情報提供に努め、協力して児童の健康増進に取り組んでいる。	100%	0%	96.7	
		100%	0%	96.7	
喜んで働く子ども	11	児童の「勤労観」や「職業観」などが育成されている。	92%	8%	78.8
			93%	7%	76.7
	12	児童一人一人のキャリア形成と自己実現の指導に努めている。	92%	8%	78.8
			93%	7%	76.7
安全、生活、家庭との連携	13	学校は、通学路の安全や交通安全対策に努めている。	100%	0%	94.6
			100%	0%	93.3
	14	学校は、学校施設の安全や子どもの活動の安全対策に努めている。	100%	0%	94.6
			100%	0%	98.3
	15	児童は、学校に行くことを楽しいと感じている。	100%	0%	88.3
			100%	0%	81.7
	16	児童は、基本的な生活習慣(早寝・早起き・朝ご飯)が身についている。	86%	14%	76.8
			93%	7%	73.3
17	学校は、児童や保護者からの相談に対して適切に対応している。	100%	0%	93.3	
		100%	0%	91.7	
18	学校は、連絡帳・電話・学校配信メール等で家庭との連絡・連携を図っている。	100%	0%	98.3	
		100%	0%	96.7	
19	「学校だより」「学級だより」「保健だより」等の配付や「ホームページ」等で学校の様子や教育活動をわかりやすく伝えている。	100%	0%	93.3	
		100%	0%	96.7	
特別支援教育	20	特別な支援が必要な児童に対し、個別の支援・指導に努めている。	100%	0%	96.7
			100%	0%	100.0
不祥事防止	21	学校は、「不祥事ゼロ」をめざして意識改革に努め、効果的な研修を行っている。	100%	0%	100.0
			100%	0%	100.0
働き方改革	22	意識して時間外勤務を削減しようとしている。	100%	0%	86.7
			93%	7%	88.3

令和6年度 学校関係者評価

学校名	旭市立琴田小学校
-----	----------

1 学校教育目標

豊かな心で自ら学び合う たくましい琴田っ子の育成

学校関係者評価委員
(学校運営協議会委員)

2 本年度の学校経営の重点

① 授業に取り組む姿勢・ルールを職員・児童が共通理解し、徹底する事で学習習慣を確立する。	・ 授業に取り組む姿勢(グー・ベタ・ピン・サツ)やルールを全校で統一し、教室全面に掲示して、徹底指導を行う。 ・ 授業の開始時刻、終了時刻を厳守する。 ・ 授業以外の場面でも、基本的な生活習慣(廊下・階段の歩行、返事・挨拶・お礼の習慣化等)の確立に取り組む。	地域コーディネーター 江ヶ崎区長 中琴田区長
② 家庭学習の充実を図る。家庭学習への取り組み方の指導、ICT機器の効果的活用と真実モラル・マナー指導を充実させる。	・ 家庭での過ごし方について調査を行い、実態把握に努め、指導の充実につなげる。 ・ 学年、発達段階、個に応じて指導内容や方法を工夫し、支援・助言・励ましを行う。 ・ ゲーム・スマートフォン利用やTV視聴に関して、児童への指導・支援と家庭への啓蒙活動を行う。 ・ ICT機器を効果的に活用し、家庭学習の充実を図る。	江ヶ崎西区長 PTA会長 PTA副会長
③ 図書館司書と連携し、読書活動を推進する。読書に消極的な児童に対し、効果的な指導・支援を実施する。	・ ボランティアによる読み聞かせ」を充実させる。 ・ 図書館司書と協力し、本の紹介や読書イベントの充実、読書への啓蒙活動を実施する。 ・ 読書量の顕著な児童の表彰をわかりやすく、積極的に行う。	
④ 豊かな人間関係を構築するため、あいさつ運動・親切運動、ボランティア活動、勤労体験等を通して思いやりや互いの個性を認め合う心を養う。	・ 体験活動(学習)やボランティア活動、勤労体験を通して、思いやりや互いの個性を認め合う心を養う。 ・ 児童会活動を推進し、あいさつ運動や親切運動等を実施する。 ・ 道徳の授業と評価の工夫改善を積極的に進め、道徳教育を推進する。 ・ 全校児童が活躍できるような、行事・学習活動を積極的に実施する。	
⑤ 進んで運動に取り組む、運動の楽しさを知るため、運動の日常化と体力向上を図る。	・ 教科体育、体育的行事、部活動(陸上部)の活動を工夫し、充実させる。 ・ 体育科の授業において、準備運動の流れを統一し、スムーズな授業実践と運動量の確保に努める。 ・ 休み時間を15分間確保し、体を動かすことのできる時間を保障する。 ・ 施設や用具を整備、充実させることで、運動に取り組むやすい環境を整える。	上記の方々のうち5名から、ご回答をいただきました。
⑥ 学校・家庭・地域と連携し、「開かれた学校」を推進し、「開かれた一人一人の状況について、家庭との連携を密にする。	・ 家庭との連絡・連携を積極的に進める。(欠席時、ケガや体調不良時、生徒指導関係等) ・ 学校だより、学級だより、保健だよりの発行やホームページの更新など、積極的に情報を発信する。 ・ 各種行事を保護者や地域に積極的に公開する。 ・ 授業や諸活動に対して、地域人材の活用を推進する。	
⑦ 公正で効率的な職務の遂行とコンプライアンスを徹底し、「働き方改革」の推進、「不祥事ゼロ」を実現する。	・ モーラルアップ委員会や研究主任を中心に校内研修会を実施し、教職員の意識改革やボトムアップ型の提言を推進する。 ・ 職員間でコミュニケーションを積極的に図り、互いに何でも伝え合える風通しの良い職員室・職場を醸成する。 ・ モーラルアップ委員長を中心に、不祥事根絶に向けた啓蒙活動や防止・根絶研修を計画的・効果的に実施する。 ・ 教職員としての資質能力の向上を図り、人材育成を推進する。	

3 自己評価結果に対する学校関係者の評価・意見等

学校による自己評価の評価基準 : A(満足できる)、B(ほぼ満足できる)、C(やや努力が必要である)、D(努力が必要である)

学校関係者評価の評価基準 : A(適切な評価である)、B(ほぼ適切な評価である)、C(やや不適切な評価である)、D(不適切な評価である)

分野・領域	評価項目	評価の指標	自己評価	考察と改善に向けた取組	学校関係者評価	
					自己評価の適切さ	改善に向けた取組の適切さ
学校運営教育課程	保: お子さんは、学校に行き事を楽しんでいる。 児: 学校生活は、楽しい。 保: 学校は、児童一人一人のキャリア形成と自己実現の指導に努めている。 保: 学校は特別な支援が必要な児童に対し、個別の職: 支援・指導に努めている。	保護者の95%、児童の92%から肯定的評価を得た。 保護者の83%から肯定的評価を得た。 保護者の96%から肯定的評価を得た。また、職員は全員(100%)が「十分」概ね十分と考えている。	A B A	キャリア教育に関しては、保護者の評価点が74.5と低い結果だったためBとした。校内の取組がしっかりと保護者に伝わり、指導の成果について理解を得られるよう努力する。「学校に行く事が楽しい」の項目の肯定的評価が100%により近づこう、教育課程を見直し、学校生活の充実に取り組む。	A評価: 5名	A評価4名 B評価1名
学校関係者による意見等	○全体的に保護者・児童の評価も高く、順調に学校運営が行われていると思います。キャリア教育は、発達段階に応じて将来を見据えた取組が必要と思われます。○個々人のキャリア形成を学校に求めることに、そもそも無理があると思います。先生方のご苦労に、頭が下がります。					
学習指導	保: 学校は、学習の基礎・基本となる計算や漢字など職: が身に付くように指導している。 保: お子さんは、宿題や家庭学習の習慣が身に付いてきている。 児: 家で学習(宿題や家庭学習)に進んで取り組んで保: 学校は、お子さんが進んで読書するように指導・配慮している。 児: 学校や家で、進んで本を読んでいる。 保: 学校は、授業や家庭での学習にICT機器(タブレット端末)を活用している。 児: タブレットを使った勉強は、楽しい。 職: 授業や家庭での学習にICT機器(タブレット端末)を活用している。	保護者の98%から肯定的評価を得た。また、職員は全員(100%)が「十分」概ね十分と考えている。 保護者の88%、児童の86%(低: 100%、高: 72%)から肯定的評価を得た。 保護者の87%、児童の50.5%(低: 56%、高: 45%)から肯定的評価を得た。 保護者の93%、児童の87%から肯定的評価を得た。 職員は全員(100%)が「十分」概ね十分と考えている。	A A B A A	読書に関する項目については、児童の肯定的評価並びに評価点の数値が低いと目した。学校では、昨年度に引き続き読書賞の授与と読書ボランティアによる読み聞かせ活動、図書館司書による図書室の管理・充実と本の紹介等を行っている。それに加えて今年度は、毎週月と水曜日の朝学習を読書に設定すると共に受賞者の写真掲示による賞賛も行っている。しかし、低学年では意欲的に取り組む児童が増加傾向だが、学校全体としての意識はまだ十分に高まっていない。読解力の向上を目指すためにも、読書に対する意欲が高まるよう指導を工夫していく。 その他の項目はAとしたが、まだまだ十分ではない。漢字や計算などの基礎的・基本的な知識の定着や家庭学習の更なる充実を目指し、次年度は年間計画を作成し、小テストを定期的実施していく。	A評価: 5名	A評価4名 B評価1名
学校関係者による意見等	○児童の実態に応じた教育を実施しており、保護者からも高い評価を得ています。現状と課題をしっかりと分析して、基礎基本の定着を図る具体的な取組を次年度に実施することは、評価できます。 ○読書離れは、社会全体の傾向ですから難しいですね。読解力の低下、想像力の低下が心配です。低学年のうちから、読書に親しむ習慣が身に付くと良いですね。					
生徒指導	保: お子さんは、授業に取り組む姿勢・ルールが身に付いてきている。 児: 授業に取り組む姿勢・ルールは守っている。 保: お子さんは、基本的な生活習慣が身に付いている。 児: 学校のきまりや約束を守って生活している。 保: 学校は、いじめの防止や早期発見に十分努めて職: いる。	保護者の96%、児童の92.5%から肯定的評価を得た。 保護者の81%、児童の94%から肯定的評価を得た。 保護者の93%から肯定的評価を得た。また、職員は全員(100%)が「十分」概ね十分と考えている。	A A A	集中力を高め、持続しながら学習に取り組ませるために大切なことは、授業規律の徹底や基本的な生活習慣の確立及び規範意識の向上であると考えます。今後も教職員が共通理解を図り、徹底して生徒指導にあたる。いじめに関しては『絶対にあってはいけない。許さない。』という意識を職員が高くもち、早期発見・防止に努め。また、道徳科の授業や諸活動において、思いやりや命を大切にすることを培うための指導を実施していく。	A評価: 5名	A評価5名
学校関係者による意見等	○児童の授業に取り組む姿勢、集会活動での態度等から、教職員が共通理解を図って児童への指導を行っていることがうかがえます。 ○個性尊重が求められる昨今、集団生活のルールや他者への思いやりの大切さをしっかりと指導していただきたいと思います。					
道徳	保: お子さんは、挨拶や返事がきちんとできている。 児: あいさつや返事がきちんとできている。 職: 児童は、挨拶や返事がきちんとできている。 保: お子さんは、「道徳」やその他の活動を通して思いやりや心が育っている。 児: 友達に親切にしてあげたことがある。 児: 友達の良いところや自分の良いところを見つける事ができた。	保護者の89%、児童の94%、職員の80%から肯定的評価を得た。 保護者の92%、児童の89.5%から肯定的評価を得た。 児童の85%から肯定的評価を得た。	A A A A	どの項目においても肯定的評価の数値は、比較的高い値となっているが、まだまだ十分とは言えない。特に挨拶に関しては、保護者及び児童の数値は高いが、職員の数値からは、更なる成長への期待が感じられる。これらも道徳の授業や日常生活における指導、児童会を中心とするあいさつ運動など、様々な機会を通して児童の心の成長を目指し取り組む。	A評価: 5名	A評価5名
学校関係者による意見等	○挨拶は社会生活の基礎です。重要性をしっかりと意識させ、習慣化を図るためにも、学校全体で取り組んでほしいと思います。 ○小規模校ならではの、教職員の皆様の目が行き届いているように思います。					
保健・体育安全管理	保: 学校は、体育の授業や体育的行事、休み時間の遊びを通して運動に親しみ、体力向上を推進している。 児: 体育や休み時間などは、進んで体を動かした。 保: 学校は、家庭に対してお子さんの保健衛生に関する情報提供に努め、協力して子どもの健康増進に取り組んでいる。 保: 学校は、通学路の安全や交通安全対策に努めて職: いる。 保: 学校は、学校施設の安全や子どもの活動の安全管理に努めている。	保護者の97%、児童の82%から肯定的評価を得た。 保護者の96%から肯定的評価を得た。また、職員は全員(100%)が「十分」概ね十分と考えている。 保護者の94%から肯定的評価を得た。また、職員は全員(100%)が「十分」概ね十分と考えている。 保護者の96%から肯定的評価を得た。また、職員は全員(100%)が「十分」概ね十分と考えている。	A A A A	今年度は、15分の休み時間の確実な確保や学習環境の充実に取り組んだ。今後も児童の体力向上を目指し、体育活動のさらなる充実と積極的に運動に取り組める環境整備に努める。 交通安全等については、PTA役員、地域ボランティアの方々の協力のもと、引き続き、保護者や地域と共に子ども達の安全確保に取り組んでいく。 安全で安心な学校運営に向けて、教職員の意識を高く維持し、毎月の安全点検を確実に実施することを今後も継続していく。	A評価: 5名	A評価5名
学校関係者による意見等	○児童を預かる学校にとって安全管理が一番重要です。学校の取組に対する保護者の評価も高く、特に教職員の安全への意識の高さは、すばらしいと思います。 ○小規模校ならではの、教職員の皆様の目が行き届いているように思います。					
保護者・地域との関わり	保: 学校は、児童や保護者からの相談に対して適切に対応している。 職: 児童や保護者からの相談に対して適切に対応している。 保: 学校は、連絡帳・電話・学校配信メール等で家庭との連絡・連携を図っている。 保: 学校は、「学校だより」「学級だより」「保健だより」等の配付や「ホームページ」等で学校の様子や教育活動をわかりやすく伝えている。	保護者の94%から肯定的評価を得た。 職員は全員(100%)が「十分」概ね十分と考えている。 保護者の97%から肯定的評価を得た。 保護者の全員(100%)から肯定的評価を得た。	A A A A	どの項目も比較的高い肯定的評価をいただいている。今後も以下の点を継続していく。 ○子ども達や保護者の声に耳を傾け、相談には誠意をもって丁寧に対応する。 ○学校で発生した内容については、事の大小に関わらず、学級担任から保護者に積極的に連絡・報告をこまめに行う。 ○学校配信メールを積極的に活用して、情報発信・連携を行う。 ○学校だよりには保護者からの感想や意見を掲載し、今後も引き続き、積極的な情報発信に努める。	A評価: 5名	A評価5名
学校関係者による意見等	○学校からの積極的な情報発信、授業参観への保護者の多さ、学校だよりの保護者の意見等からも、学校に対する保護者や地域からの期待と信頼が高いことがわかります。これからも、地域との関係を大切にしたい学校を目指してください。 ○地域と学校との関わり合いを、より頻りに、より密にして、学校から地域に対する要望を地域住民に共有してもらえと良いと思います。					